

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月14日

上場会社名 株式会社エスクリ 上場取引所 東
 コード番号 2196 URL <http://www.escrit.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渋谷 守浩
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 吉瀬 格 (TEL) 050-1743-3418
 CFO
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	17,867	10.5	375	—	625	—	382	△47.9
2022年3月期第3四半期	16,162	103.3	△730	—	△46	—	733	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 365百万円(△49.4%) 2022年3月期第3四半期 722百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	15.73	—
2022年3月期第3四半期	41.73	34.86

(注) 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	22,758	6,068	26.7
2022年3月期	24,584	5,928	24.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,067百万円 2022年3月期 5,926百万円

四半期連結業績に関する注記

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,741	15.7	500	—	500	—	300	△37.2	5.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	13,786,500株	2022年3月期	13,786,500株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	277,965株	2022年3月期	277,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	13,508,535株	2022年3月期3Q	13,508,558株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、2023年2月14日に当社ウェブサイトに掲載しております。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は、以下のとおりです。

	年間配当金								
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末	期末	合計		
A種類株式	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
2022年3月期		—	37,500.00		—		37,500.00		75,000.00
2023年3月期		—	37,500.00		—				
2023年3月期(予想)							37,500.00		75,000.00

(注) A種類株式は、2021年3月31日に発行したものです。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(追加情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、行動制限や海外渡航制限の緩和等、ウィズコロナの生活様式の浸透により正常な経済活動へ回復の傾向が見られましたが、世界的な資源・エネルギーの価格高騰や急激な円安の進行による物価の高騰などにより、景気は依然として先行きの不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループは、ブライダルマーケットにおけるシェア拡大戦略を展開すべく、施設の様式にこだわらず、東京23区及び政令指定都市を中心とした利便性の高い場所で挙式・披露宴を運営する当社のほか、店舗・オフィスの設計施工、建築用コンテナの企画・販売・施工、建材・古材の販売など建築不動産に関するソリューションを提供し、またグループ内施設の内装工事を担う株式会社渋谷を主軸にグループ経営を推進する体制を強化し、連結業績の最大化に向け継続して取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高17,867百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益375百万円（前年同四半期は730百万円の損失）、経常利益625百万円（前年同四半期は46百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益382百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

なお、当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響の長期化に備えて、2022年6月にコミットメントライン契約（極度金額6,000百万円）を締結し、引き続き安定した資金調達手段を確保しております。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

（ブライダル関連事業）

新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、政府・自治体からの制限要請（酒類提供の禁止、収容人数制限等）の無い基本的な感染防止対策を継続した状態で挙式・披露宴を実施してまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大前の水準には至らなかったものの、前年同期と比較して施行単価が増加したことにより、前年同期比では増収となり、ブライダル関連事業の売上高は16,159百万円（前年同四半期比15.6%増）、セグメント利益は1,197百万円（前年同四半期は83百万円の損失）となりました。

（建築不動産関連事業）

工事の取り扱いの減少に加え、土地の取り扱いが昨年度の反動で減少したことにより、売上高が減少しました。資材価格高騰の影響により調達コストが増加したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、資材調達の遅れが発生し、工程が逼迫したことによる突貫工事で労務コストが想定より増加しました。結果、建築不動産関連事業の売上高は1,707百万円（前年同四半期比21.9%減）、セグメント損失は211百万円（前年同四半期は26百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産総額は22,758百万円となり、前連結会計年度末より1,826百万円減少しております。これは主に、現金及び預金が1,157百万円減少したこと、未成工事支出金が204百万円増加したこと、建物及び構築物（純額）が742百万円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債総額は16,690百万円となり、前連結会計年度末より1,965百万円減少しております。これは主に、支払手形及び買掛金が372百万円減少したこと、契約負債が322百万円減少したこと、長期借入金が151百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,068百万円となり、前連結会計年度末より139百万円増加しております。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益382百万円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日付決算短信にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症再拡大の状況により連結業績を修正する必要がある場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,124,998	4,967,598
受取手形、売掛金及び契約資産	274,460	465,865
完成工事未収入金	429,263	257,673
販売用不動産	364,610	350,632
商品及び製品	270,338	287,850
原材料及び貯蔵品	65,168	65,161
未成工事支出金	33,019	237,081
その他	721,404	688,649
貸倒引当金	△35,816	△37,356
流動資産合計	8,247,448	7,283,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,338,772	5,596,387
その他	1,404,695	1,292,717
有形固定資産合計	7,743,468	6,889,104
無形固定資産	89,638	94,776
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,603,901	3,667,802
繰延税金資産	4,593,154	4,514,846
その他	345,152	353,636
貸倒引当金	△38,211	△44,957
投資その他の資産合計	8,503,997	8,491,328
固定資産合計	16,337,103	15,475,209
資産合計	24,584,551	22,758,366

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	992,352	619,724
短期借入金	5,041,500	4,929,000
1年内返済予定の長期借入金	1,405,298	1,247,551
未払金	702,854	709,729
未払法人税等	31,693	22,719
契約負債	1,606,727	1,284,311
資産除去債務	138,783	118,258
その他	1,868,956	1,239,538
流動負債合計	11,788,166	10,170,834
固定負債		
社債	210,000	180,000
長期借入金	3,714,393	3,562,839
資産除去債務	2,456,648	2,349,826
その他	486,759	426,631
固定負債合計	6,867,801	6,519,297
負債合計	18,655,967	16,690,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	4,613,178	4,613,178
利益剰余金	1,483,871	1,640,878
自己株式	△192,505	△192,505
株主資本合計	5,954,544	6,111,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	85	△523
為替換算調整勘定	△28,017	△43,980
その他の包括利益累計額合計	△27,932	△44,503
新株予約権	1,971	1,187
純資産合計	5,928,583	6,068,235
負債純資産合計	24,584,551	22,758,366

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	16,162,667	17,867,702
売上原価	7,202,040	7,231,340
売上総利益	8,960,627	10,636,362
販売費及び一般管理費	9,691,003	10,261,328
営業利益又は営業損失(△)	△730,375	375,033
営業外収益		
雇用調整助成金	279,918	134,819
助成金収入	529,399	216,679
その他	29,795	34,652
営業外収益合計	839,112	386,151
営業外費用		
支払利息	59,763	58,216
金融手数料	73,917	71,111
その他	21,493	6,767
営業外費用合計	155,174	136,095
経常利益又は経常損失(△)	△46,437	625,089
特別利益		
新株予約権戻入益	18	784
特別利益合計	18	784
特別損失		
減損損失	—	140,985
特別損失合計	—	140,985
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△46,418	484,887
法人税、住民税及び事業税	46,783	24,149
法人税等調整額	△826,374	78,730
法人税等合計	△779,590	102,880
四半期純利益	733,171	382,006
親会社株主に帰属する四半期純利益	733,171	382,006

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	733,171	382,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,670	△608
為替換算調整勘定	△8,235	△15,962
その他の包括利益合計	△10,905	△16,571
四半期包括利益	722,265	365,435
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	722,265	365,435

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第3四半期連結累計期間において、繰延税金資産の回収可能性及び固定資産の減損等の会計上の見積りを行うにあたり、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大に関する仮定に重要な変更はありません。

(財務制限条項)

(1) 長期借入金のうち212,500千円(2020年3月31日付金銭消費貸借契約)には、下記の財務制限条項が付されています。

- ① 各事業年度の末日において、損益計算書における経常損益を2期連続で損失としないこと。
- ② 各事業年度の末日において、貸借対照表における純資産の金額を、直前期末の貸借対照表における純資産の金額の75%以上に維持すること。

なお、①については、前連結会計年度末において財務制限条項に抵触しておりましたが、主要取引銀行と緊密な関係を維持しており継続的な支援を得ているため、期限の利益喪失請求権の権利行使は受けておりません。

(2) 短期借入金のうち3,504,000千円(2022年6月30日付コミットメントライン契約)には、下記の財務制限条項が付されています。

2023年3月期末日における連結貸借対照表に記載される純資産合計の金額を負の値としないこと。